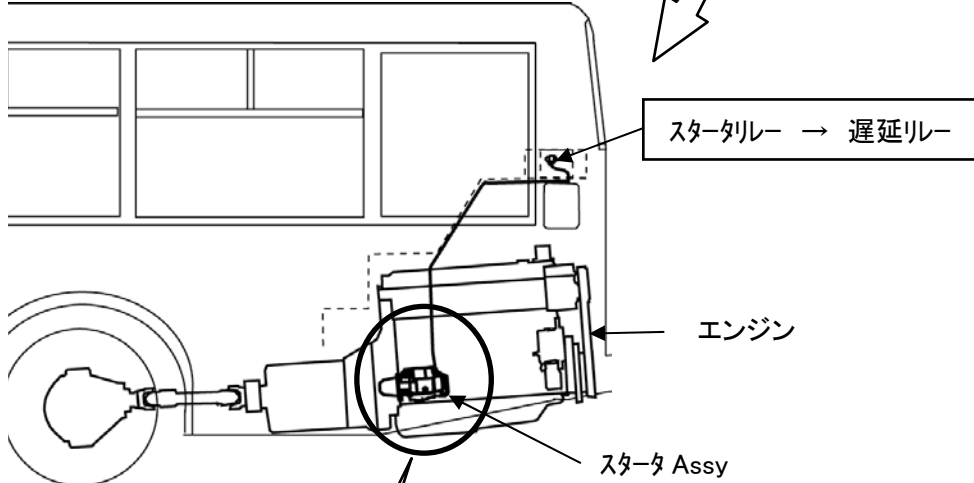
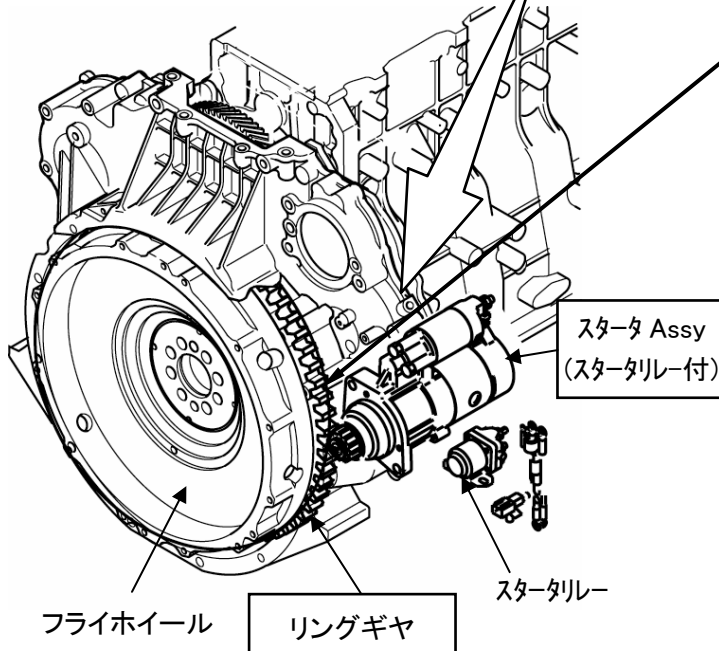


改善箇所説明図



基準不適合箇所

大型路線バスの始動装置において、フライホイールリングギヤの硬度及びスタータマグネチックスイッチ起動回路の配線長さが不適切なため、始動操作時にスタータピニオンがフライホイールリングギヤに衝突干渉し、噛合い不良からギヤ端部が欠損、損傷することがある。そのため、エンジンの始動が困難あるいは不能となり、始動操作を繰り返す行なうと、最悪の場合、火災になるおそれがある。



改善の内容

スターター式を対策品（スタータリレー付）と交換するとともに、遅延リレーを追加装着する。また、フライホイールリングギヤのギヤ面を点検し、異常が認められた場合は新品と交換する。

注：□は、交換部品を示します。

識別：作業完了車には、左後部点検リッド内上隅部近辺の確認し易い位置に「HB-07」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。: